

「第4期横浜市高齢者居住安定確保計画(素案)」に対する市民意見募集の実施結果について

横浜市では、本計画の策定にあたり、素案を公表し、市民意見募集を実施しました。市民の皆様からの貴重なご意見に感謝いたします。

このたび、実施結果と本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

1 市民意見募集の概要と実施結果

(1) 意見募集の期間

令和2年12月18日(金)から令和3年1月18日(月)まで

(2) 意見の提出方法

郵送、電子メール、ファックス

(3) 市民意見募集の周知方法

- ・広報よこはま(令和2年12月号)
- ・市ホームページへの掲載
- ・地域ケアプラザ、区役所、住まい・まちづくり相談センター住まいのイン等でリーフレットを配架

(4) 全体の意見数

5名(郵送3名、電子メール2名)の方から、12件のご意見をいただきました。

2 ご意見(原文)と本市の考え方

分類一覧表

I ご意見を反映し、素案を修正したもの	2件
II 計画の推進に積極的な意見や、素案を評価いただいたもの	2件
III 個別事業・取組に対する意見や質問で、今後の参考とさせていただくもの	8件
IV 意見の趣旨が既に素案に含まれているもの	0件
V その他、計画との関係が見られないもの	0件

該当箇所	ご意見(原文)	分類	本市の考え方
第2章 4	(素案)P17 ページ「(3)イ 地域の中で、多様な世代が安心して住み続けられる住環境の実現」 内容の意図が一読して分かりにくいと思いました。 「子供が近くに住んでいる割合が約3割にとどまることから、地域の中で、高齢者が安心して住み続けられる住環境の実現」ならすなりと分かるのですが、「多様な世代」だと前段からの繋がりが不明瞭な気がします。(P18 ページの目標 多様な世代が安心して住み続けられる＝高齢者が生き生きと暮らせる、を受けての内容だと思いますが、子供との同居近居を推進する目標ではないですよね?)	I	第2章、4、(3)、「イ 地域の中で、多様な世代が安心して住み続けられる住環境の実現」について、「多様な世代」を、「高齢者をはじめとした多様な世代」へ、本計画の表現を修正いたします。

該当箇所	ご意見（原文）	分類	本市の考え方
第4章 1	<p>省エネ住宅普及促進について</p> <p>今後単身、借家居住の高齢者が増えていく中で、借家の省エネルギー化の普及促進は良いと思いました。</p> <p>高齢者に限らず、借家では原状回復義務のため、省エネ化、バリアフリー化、地震対策が難しく、賃貸住宅居住者は、持ち家に比べてリスクのある生活をしているといえます。国の住生審の動向を追えていないので外的外れかもしれませんが、住まいのサブスク化や、デュアルライフ、空き家活用も注目されていますし、横浜市だけで出来ることは限られますが、住宅の健全な流通、住み替えのためにも、賃貸住宅の性能向上、質の情報開示が必要だと感じました。</p>	Ⅱ	<p>本計画に対するご期待ととらえ、着実に取組を推進してまいります。</p>
第4章 1	<p>災害時の応急仮設住宅の供給準備</p> <p>現行計画に対し、昨今の地震、風水害激甚化を受けて、応急仮設住宅への高齢者の入居を想定し、具体的な内容を伴って追加されるのは良いと思いました。</p>	Ⅱ	<p>本計画に対するご期待ととらえ、着実に取組を推進してまいります。</p>
第4章 1	<p>高齢者の住まいとして、特に、更なる増加が想定されるサービス付高齢者向け住宅において、住戸の温熱環境性能を上げることは、健康寿命延伸につながり、個人の医療費負担軽減（翻って行政の医療費負担軽減）をもたらすため、十分な性能確保を示して欲しいと思います。具体的には、なるべく少ないエネルギーでWHOの推奨する18度～26度の室温を維持することが目標になります。</p>	Ⅲ	<p>サービス付高齢者向け住宅も含めた住宅全体について、健康リスクの軽減に寄与する住宅の省エネ化を促進していきます。</p>
第4章 1	<p>十分な温熱環境の実現の際に有効なのは開口部を含む外皮の断熱と気密です。平均して十数年しか保たない設備機器に対して、断熱・気密は適切な施工を行えば半永久的に性能を発揮し、高い費用対効果をもたらします。</p>	Ⅲ	<p>いただいた意見を基に住宅の省エネ化の普及を目指していきます。</p>
第4章 1	<p>加えて、昨今のコロナイフェクトを考慮すると、住宅における換気についても断熱・気密性能を妨げない工夫が必要となります。室内の温度に影響を与えない全熱交換型24時間換気システムなども商品化され、住宅に取り入れられはじめています。</p>	Ⅲ	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

該当箇所	ご意見（原文）	分類	本市の考え方
第4章 1	最後に、外皮性能に加えて、寝室とトイレの動線の短縮などプランニング上の工夫は、面積が広くない住戸においても有効です。海外では寝室にトイレがついて、夜間等でも同じ温熱環境で用を足すことができます。このことは移動のし易さというバリアフリーの観点でも有効です。	Ⅲ	いただいた意見を基に住宅の省エネ化の普及を目指していきます。
第4章 1	高齢者の健康寿命延伸において、地域包括ケアを担う医療福祉従事者が健康と住まいの温熱環境との関係を十分に理解していることがポイントになりますので、医療福祉従事者に対する住まいの温熱環境に関する情報共有を実施できる仕組みが望まれます。	Ⅲ	いただいた意見を基に住宅の省エネ化の普及を目指していきます。
第4章 3	全く違う視点から、スペインの海岸沿いにある Vilassar という街には、高齢者の為の公園があります。もちろん子供達と公園で一緒に遊ぶことができ、そうする事で、違う世代同士が関わり合って、絆を深めることができると思います。普段のお散歩コースにこのような公園があれば元気なお年寄りが増えるのではないのでしょうか？ 住まいの細かな住生活の充実も大切ですが、このような取り組みもしていただけたらと思いました。是非ご検討願います。	Ⅰ	第4章、3、(1)、ア、「(イ) 戸建て住宅地の再生に伴う機能の導入」について、「生活支援機能の確保」を、「生活支援機能や広場等の確保」へ、本計画の表現を修正いたします。
第4章 3	以前団地に住んでいたが、移動販売があったことは全く知らなかった。回覧板やエレベーターホールで掲示するなど、広報にも力を入れるべきだと思う。高齢者になるほど、インターネットよりポスティングなどが伝わるように思う。	Ⅲ	周知方法については、今後の取組の参考にさせていただきます。

該当箇所	ご意見（原文）	分類	本市の考え方
その他	<p>このご時世、高齢者だけではなく、仕事がなくなってしまった、収入が減ってしまった若い人が少なくないと思うので、家賃補助や手当でも高齢者だけでなく全世代が受けられるものにしてほしい。</p>	Ⅲ	<p>第4章、1、(1)、イ「(イ)セーフティネット住宅の供給促進」において、高齢者だけでなく、若年者なども含む住宅確保要配慮者に対して、家賃及び家賃債務保証料減額補助を行っています。</p> <p>いただいた意見について、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
その他	<p>高齢者に対する取組みがたくさんあるようなので、違いが分からないので本当に必要なのか分からない。それであれば、もっと子育てに対する取組みに力を入れてほしい。</p>	Ⅲ	<p>本計画は、主に高齢者全体の住生活の安定と向上を実現することを目的としています。</p> <p>いただいた意見について、今後の参考にさせていただきます。</p>